

4. 市内小中学生の体力・運動能力の状況

平成 26（2014）年度から平成 30（2018）年度までの体力・運動能力調査（新体力テスト）の結果について、本市の小学校 5 年生の状況を見ると、体力合計点は男子・女子ともに、国平均は上回るが県平均は下回ることが多くなっています。また、男子・女子ともに向上傾向が見られます。

種目別では、男子・女子の反復横とび、男子の 50m 走並びに女子の長座体前屈及び反復横とびは国・県平均を上回ることが多い一方、男子の握力は国・県平均を下回ることが多くなっています。また、男子・女子の握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン及び立ち幅とび並びに男子のソフトボール投げは向上傾向が見られます。

本市の中学校 2 年生の状況を見ると、体力合計点は男子・女子ともに、国平均は上回り、年度によっては県平均も上回っています。また、男子・女子ともに向上傾向が見られます。

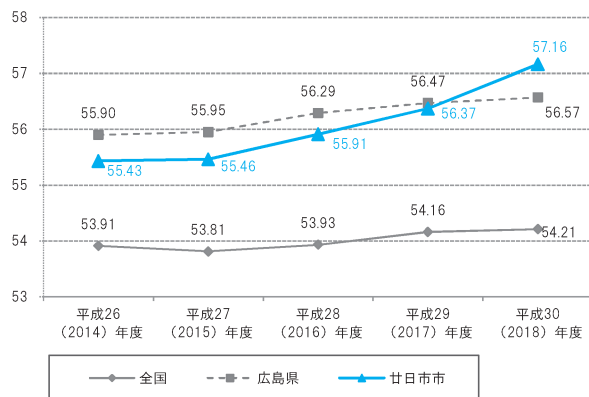
種目別では、男子・女子の反復横とび及び立ち幅とび並びに男子の 20m シャトルラン及び 50m 走は国・県平均を上回ることが多い一方、女子の持久走及びハンドボール投げは国・県平均を下回っています。また、男子・女子の反復横とび及び 50m 走並びに男子の持久走は向上傾向が見られます。

全国、広島県及び本市の平均値について、5 年間の推移は次のとおりです。なお、広島県平均値及び廿日市市平均値には、国立及び私立の小学校又は中学校に通う児童・生徒は含まれていません。また、この値はスポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」及び広島県教育委員会「広島県児童生徒の体力・運動能力調査結果【速報版】」によるものです。

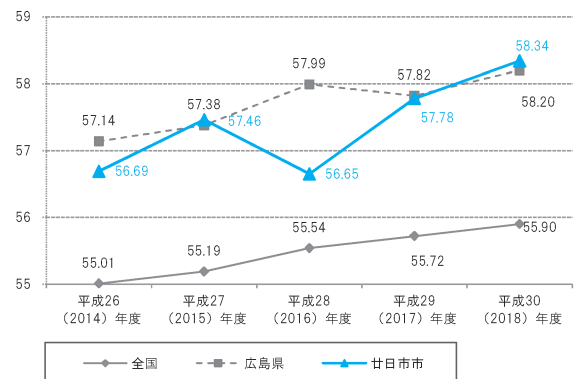


(1) 小学校5年生/体力合計点(点)平均値の推移

【男子】



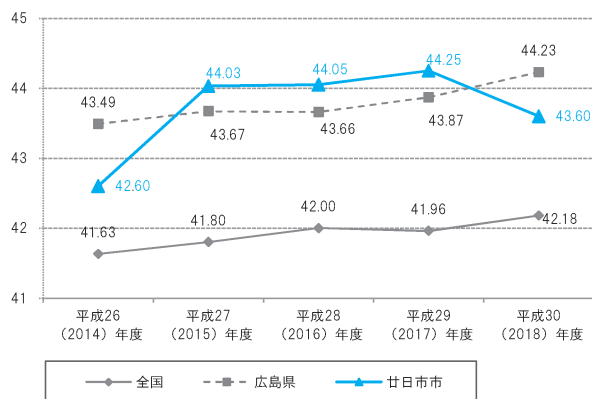
【女子】



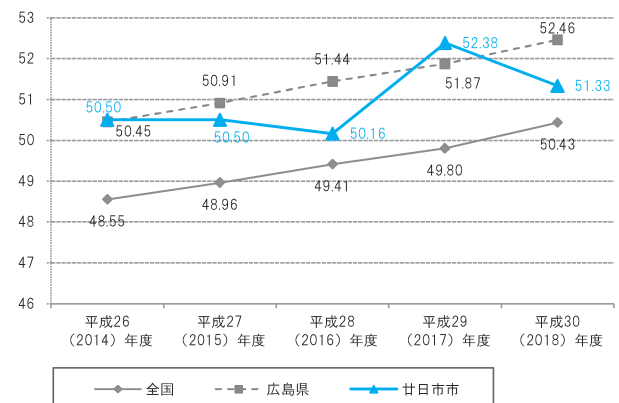
※個別種目のグラフは、資料編に掲載しています。

(2) 中学校2年生/体力合計点(点)平均値の推移

【男子】



【女子】



※個別種目のグラフは、資料編に掲載しています。

5. スポーツ関係団体等へのヒアリング調査結果

(1) ヒアリング調査（平成29（2017）年度）

①調査の目的

前計画の評価を行う上で、本市におけるスポーツ活動の現状と課題を聴取することを目的として、市内スポーツ関係団体へのヒアリング調査を実施しました。

②調査実施団体

実施日	団体区分	実施団体
平成 30（2018）年 3 月 16 日	総合型地域スポーツクラブ	NPO 法人 廿日市スポーツクラブ
平成 30（2018）年 3 月 16 日	スポーツ団体	NPO 法人 廿日市市スポーツ協会
平成 30（2018）年 3 月 25 日	スポーツ施設指定管理者	ポラーノグループ廿日市

③本市におけるスポーツの現状と課題

総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各競技団体など、民間団体によるスポーツ活動が活発化しています。

【指導者と指導体制の活性化】

- ◆ 高校指導者等を対象に、最新スポーツ科学や医学を取り入れた研修会を開催しています。（廿日市スポーツクラブ）
- ◆ 選手を退いて指導者を希望する人材を、次代の指導者として育成しています。（廿日市スポーツクラブ）
- ◆ プロスポーツ選手や国際大会等に出場した選手によるスポーツ教室や講演会等を開催しています。（市スポーツ協会）
- ◆ 市、市スポーツ協会、スポーツセンターが実施する各種指導者講習会の運営方法等の再検討が必要です。（廿日市スポーツクラブ・市スポーツ協会・ポラーノグループ廿日市）

【スポーツボランティア活動の推進】

- ◆ 登録制により、シニア世代が土日のサッカースクールのサポートを担っています。（廿日市スポーツクラブ）
- ◆ ボランティアバンク制度などを整備して、フットサルやニュースポーツなど新しいスポーツを含む様々な場面で活躍する人的資源の確保が必要です。（廿日市スポーツクラブ・市スポーツ協会）

【障がい者スポーツの取り組み】

- ◆ 障がい者や外出が苦手な子どもを対象に、誰でも参加できるフリースクールを開催しています。（廿日市スポーツクラブ）
- ◆ パークゴルフ場に通常のコースとは別に人工芝を敷き、車いすで利用することが

可能なコースを用意しており、高齢者のリハビリ用としても活用しています。(市スポーツ協会)

- ◆ 障がい者のスポーツ活動には場所と指導者が重要であり、スポーツセンターの活用方法など検討が必要です。(廿日市スポーツクラブ・市スポーツ協会・ボラーノグループ廿日市)

(2) ヒアリング調査(平成30(2018)年度)

①調査の目的

本計画の施策を検討する上で参考とするために、本市各地域のスポーツ関係団体等へヒアリング調査を実施しました。

②調査実施団体

実施日	団体区分	実施団体
平成30(2018)年5月16日	民間事業者	(財)もみのき森林公園協会
平成30(2018)年5月16日		佐伯国際アーチェリーランド
平成30(2018)年5月17日	福祉団体	NPO法人 廿日市市障害者福祉協会
平成30(2018)年5月28日	民間事業者	シオダスポーツ店

③本市におけるスポーツの現状と課題

民間事業者や福祉団体と市スポーツ協会等との連携を強化し、地域のスポーツ活動の活性化につなげる必要があります。

【地域のスポーツ振興】

ア. 地域の現状と課題

- ◆ 吉和運動会は、保育園・小学校・地域が一緒に行う行事として開催しています。(もみのき森林公園協会)
- ◆ 中山間地域では、地域の競技大会の継続が難しく、なくなったものもあります。(もみのき森林公園協会)

イ. 特色のある活動

- ◆ 元プロ野球コーチと連携し、中高生や発達障がい児に対する運動プログラムを組成しています。(佐伯国際アーチェリーランド)
- ◆ 大学と連携して医学や心理学などをテーマとした講演会を開催しています。(佐伯国際アーチェリーランド)

【障がい者スポーツの取り組み】

ア. 障がい者スポーツの現状と課題

- ◆ 競技性より体を動かすことに主眼を置いた種目に取り組む障がい者が多いです。(廿日市市障害者福祉協会)

- ◆ パラリンピックへの出場を目指し、知的障がい者等を指導しています。（佐伯国際アーチェリーランド）
- ◆ 障がい者団体だけでは対応が難しく、各競技で市スポーツ協会と協力して実施する必要があります。（シオダスポーツ店）

イ. スポーツボランティア活動の推進

- ◆ 障がい者スポーツではボランティアの存在が重要であり、地域がボランティアとしてサポートすることで継続性が高まるため、行政がボランティアへの誘導を進める必要があります。（佐伯国際アーチェリーランド）

【スポーツ施設の利用について】

ア. 中山間地域の取り組み

- ◆ 小学生から大学生までスポーツ合宿の受け入れをしており、県外からの遠征も受け入れています。（もみの木森林公園協会）